

日本幼児体育学会 第10回記念大会

2014年8月 於) 早稲田大学所沢キャンパス

8月2日(土)

午前の部

基調講演「日本幼児体育学会が進むべき道」

前橋 明 (早稲田大学 教授・日本幼児体育学会 会長)

キーノートレチャー「園庭遊具の安全管理—遊具の健康診断とそのポイント—」

牧野英雄 (ジャクエツ環境事業 取締役)

研究発表 I・実践報告 I・実技発表

日本における幼児期の体力測定(2) —2年間にわたるコーホート調査—

「体育実技」における望ましいカリキュラムの検討とその効果について その2
—模擬授業におけるその成果—

3歳以下の未就園児のメディア視聴の実態と関連要因の検討

感動を呼ぶ!子ども駅伝 —園児の成長の足跡—

楽しく歩いて体づくり —手づくり遊具を使って—

幼児期の運動あそびにおける課題と提言

—東日本大震災後の福島の保育現場に視点を当てて—

“なかよし”を支えにした体力向上の取り組み事例報告

—全交代制での体力テスト測定の試み—

児童期の体験とその効用について —遊びを中心に—

発育発達過程に沿った運動あそびの支援 —附属こども園における取り組みから—

『親子ふれあい体操』実践における継続群と非継続群の意識の違いについて

子どものサッカー指導—U-6において—

親子体操実践の意義

幼児体育指導実技発表 —想像力を膨らませる運動あそび—

異年齢であそぶゴムあそびとホースフープあそび

午後の部

祝辞 所沢市長 藤本 正人 様

特別講演「障がい児の『運動』を通じた感動体験」
千葉祇暉（NPO 法人 Variety Club Japan 代表理事）

研究発表Ⅱ・実践報告Ⅱ・スポーツ車イス体験Ⅰ

保育環境が幼児の生活に及ぼす影響についての一考察
—森のようちえん活動に着目して—

3才未満児の生活習慣形成にかかわる保育士の支援プロセス（Ⅱ）

幼児期における運動指導が与える効果の検討

靴の履き方による走運動の変化

動作を誘う表現方法の検討

運動遊びが幼児の運動能力や社会性に及ぼす影響

発達障害児をもつ親の育児感

ダウン症候群の生活とあそび

注意欠如・多動性障がい児とサーキットあそびについて

学校教育におけるリトミックの導入

幼稚園における芝生の園庭による効果について
—保護者の期待意識調査の結果からの考察—

スポーツ車イス体験Ⅰ

分科会Ⅰ「幼児の足の健康と運動靴」

分科会Ⅱ「子どもたちのテレビ・ビデオ視聴と生活習慣、体力・運動能力」

分科会Ⅲ「伝承あそび、コマの文化」

分科会Ⅳ「幼児体育指導法」

分科会Ⅴ「安全・避難訓練」

懇親会

8月3日（日）

午前の部

研究発表Ⅲ・ポスター発表・スポーツ車イス体験Ⅱ

保育園幼児と保護者の生活時間と活動内容についての考察（2010年～2012年）

人工ゲレンデを活用したキッズスキースクールにおける年代別習熟度について

幼児のブランコ乗り運動「座りこぎ」における動きの特徴と危険な動きについて

あそびの要素を高める体育あそび

幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開（XXⅢ）

—幼稚園幼児の生活実態（2013年調査報告）とその課題—

器械運動につながるまねっこあそびⅡ

すこやかキッズカード

幼児期～児童期へのヨーガ・プログラムにおける気分変化について

—高学年と低学年の比較調査より—

海外における実践型交流授業の展開と今後の課題

—SKYPを活用した日韓合同授業の試みを通して—

スポーツ車イス体験Ⅱ

講話「トップアスリートの親子関係から学ぶ10の黄金法則」

～子どもと先生の一番を見つけるスマイルシッププログラム～

杉山芙沙子（パーム・インターナショナル・テニス・アカデミー 校長）

記念講演「幼児体育に思いをよせて」

八巻登志人（サワダヒューマンワークス 代表取締役）

午後の部

総会・表彰式

シンポジウム「いかに育む、『運動』を通じた感動体験！」

シンポジスト

國領美佐子（吹田市立千里新田小学校 校長）

鵜飼真理子（はたの保育園 園長）

松原 敬子（植草学園短期大学 准教授）

小石 浩一（ジャクパ 体育事業本部 教育研修部長）

コーディネーター

宮下 恭子（東京成徳短期大学 教授）

相談窓口対応タイム